

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：CXCR4ケモカイン受容体拮抗剤を投与した自家血幹細胞移植患者におけるCD34陽性細胞の採取量に関する検討
- ・ 目的：末梢血幹細胞移植後の速やかな生着を得るためには、CD34陽性細胞数が 2×10^6 個/kgが必要であり、自家血幹細胞採取(PBSCH)の採取目標とされる。十分なCD34陽性細胞を確保するためPBSCHの採取予定日の6日前からG-CSFを投与開始し、血中白血球を動員させる。しかし、期待通りに白血球の増加を認めない場合や、PBST施行もCD34陽性細胞数が目標数に達しない場合があった。2017年にCXCR4ケモカイン受容体拮抗剤は、血中のCD34陽性細胞を動員させる薬剤として保険適応された。当院においても、G-CSFのみでCD34陽性細胞が増加しないと予想される症例に対して投与している。今回、CXCR4ケモカイン受容体拮抗剤の投与によるCD34陽性細胞数の増加がPBSCHの施行回数減少や最小限の条件設定へ有効であるか後ろ向きに検討する。
- ・ 研究期間：承認日 ~ 2023年3月31日
- ・ 研究対象：2013年11月13日 ~ 2022年6月2日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 試料無、情報(資料)は電子カルテから入手する患者情報

利用する者の範囲

： 埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部 松田真太郎

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部 松田真太郎